

## 4. 肝癌

## ■エピルビシンによる肝動脈化学塞栓療法

エピルビシン 60mg/m<sup>2</sup> (腫瘍血管に乳濁液が充満した時点で終了)  
 ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルと混合し肝動脈内に投与

## ■ミプラチン肝動注療法

ミプラチン 腫瘍血管に懸濁液が充満した時点で終了(上限 120mg)  
 繰り返し投与する場合は、4 週間以上あける

## ■シスプラチン肝動注療法

シスプラチン 65mg/m<sup>2</sup>  
 28~42 日ごと

## ■アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法

アテゾリズマブ	1200mg/body	Day1	
ベバシズマブ	15mg/kg	Day1	
21 日ごと			催吐リスク：最小

## ■ソラフェニブ療法

ソラフェニブ	1 回 400mg	1 日 2 回	連日内服
			催吐リスク：最小

## ■レゴラフェニブ療法

レゴラフェニブ	1 回 160mg	1 日 1 回	Day1~21
28 日ごと			催吐リスク：軽